

鳥取県西部広域行政管理組合
個別施設計画

供給処理施設(し尿処理施設)

令和3年2月

鳥取県西部広域行政管理組合
事務局施設工事課

1 計画の位置付け

本計画は、鳥取県西部広域行政管理組合公共施設等総合管理計画の体系に沿って策定するものです。

米子浄化場は平成3年に供用開始した施設で、設備機器、建築物共に老朽化が進んでいます。将来、米子市下水道施設との統合処理を予定しています。

2 計画期間

鳥取県西部広域行政管理組合公共施設等総合管理計画の計画期間にあわせ、令和2年度から令和10年度までとします。

3 対象施設

(1) 基本情報

施設名称	鳥取県西部広域行政管理組合 米子浄化場		
所在地	米子市安倍213番地		
施設分類	し尿処理施設	所管課	施設工事課
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	設置年月	平成3年3月
敷地面積	11,692 m ²	土地形態	借地(米子市所有地)
延床面積	3,763 m ²	借地契約期間	平成31年4月から令和21年3月迄

(2) 棟別情報 (建築設備)

棟名称	構造	階数		建築年月	延床面積 (m ²)	耐震基準
		地上	地下			
処理棟	鉄筋コンクリート造	2	1	平成3年3月	2,960.00	新基準
管理棟 (渡り廊下含む)	鉄筋コンクリート造	2	/	平成3年3月	750.62	新基準
車庫棟	鉄筋コンクリート造	1	/	平成3年3月	52.56	新基準

(3) 処理施設概要 (処理設備)

1 施設規模 (処理能力) し尿 浄化槽汚泥	110 kL/日 35 kL/日
2 処理方式：高負荷脱窒素処理方式 受入貯留設備 主処理設備 高度処理設備 汚泥処理設備 脱臭設備	沈砂除去 + 破碎 + 細砂除去 + し渣除去 高負荷脱窒素 (RA) + 凝集沈殿 砂ろ過 + 活性炭吸着* 汚泥脱水 + 外部処理 (資源化) 薬品洗浄 + 活性炭吸着 ※処理水を下水道に放流しており、現在は活性炭を使用していない。
3 処理工程	別紙1 米子浄化場処理フロー 参照

4 維持管理・更新等に係る対策の優先順位についての考え方

米子浄化場はこれまで大規模な改修工事を実施しておらず、長期の稼働により老朽化が進んでいます。鳥取県西部地区（米子市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町）から発生するし尿等を安定して継続的に処理する必要があります。

計画期間である令和10年度まで安定稼働を行い、その後、令和15年度を目途に予定している米子市下水道施設との統合まで施設の機能を維持するため、以下の考え方により対策を実施することとします。

- ・令和2年度に実施した長寿命化検討業務での検討結果を踏まえ、下水道施設との統合までの間、現有施設の定期補修を継続し、施設機能の維持に努めます。
- ・補修による機能回復が可能である機器は、日常点検で得られる劣化状況に基づいて、劣化や損傷が進行する前に適切な維持管理を行うことにより機器の機能回復を図ります。
- ・耐用年数を大きく超過した機器や劣化が激しく機能回復が困難な機器は、更新を実施することで施設機能の回復を図ります。
- ・設備の劣化状況に基づく計画的な補修により、機器の更新を必要最小限にとどめ、経費の低減に努めつつ、安定稼働を図ります。

5 個別施設の状態

(1) 建築設備の状況（職員による目視確認と、令和2年5月実施の建築物劣化状況調査結果による）

劣化度合	劣化の程度	評価
劣化無し	健全な状態	A
劣化小	特に修繕は必要としない程度の劣化	B
劣化中	部分的な改修・更新・修繕が想定される劣化	C
劣化大	全面的な改修・更新・修繕が想定される劣化	D

【処理棟】	構造部材	屋根、屋上	外壁	扉、窓等
屋上防水の補修が必要である。				
水槽の防食は経年による劣化が見られ、漏水が発生している。	C	D	D	C
外壁に地震に起因すると思われるひび割れが発生している。	床、階段等	内壁、天井	空調設備、給排水設備等	敷地
自動火災報知設備や非常灯・誘導灯設備の更新が必要である。	B	C	B	A

【管理棟】 屋上防水に劣化が見られ、補修が必要である。 自動火災報知設備や非常灯・誘導灯設備の更新が必要である。 空調設備の更新が必要である。	構造部材	屋根、屋上	外壁	扉、窓等
	A	D	D	C
	床、階段等	内壁、天井	空調設備、給排水設備等	敷地
	B	C	C	A
【車庫棟】 防水等の問題はない。 シャッターが老朽化しており、令和2年度更新予定。	構造部材	屋根、屋上	外壁	扉、窓等
	A	B	A	C
	床、階段等	内壁、天井	空調設備、給排水設備等	敷地
	A	A	—	A

(2) 処理設備の状況(職員による目視確認と、令和2年5月実施の精密機能検査結果による)

劣化度合	劣化の程度	評価
劣化無し	支障なし。	A
劣化小	軽微な劣化があるが、機能に支障なし。	B
劣化中	劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する。	C
劣化大	劣化が進み、大きな機能低下が発生している。	D

設備名	劣化状況	劣化度合
受入供給設備	計量棟、除さスクリーンは劣化が進んでおり改修が必要。その他の機器でも発錆が見られ経過年数から機能上の劣化が懸念される。	D
水処理設備	ポンプ・ブロワ類は定期的な整備により機能低下は見られない。冷却塔は損傷が確認され更新の検討が必要。	C
高度処理設備	機能の低下は見られないが長期稼働による劣化が考えられる。	B
汚泥処理設備	汚泥脱水機は主要部に発錆・腐食が見られ更新が必要。コンベヤに未更新のものが多く、経年による劣化が懸念される。	D
脱臭設備	一部の機器に著しい腐食が見られるが、機能の大きな低下は見られない。ポンプ類は薬品使用による内部の劣化が懸念される。	C
電気計装設備	電気設備に大きな機能低下は見られないが、受変電設備、操作装置等は耐用年数を超過している。一部の計装設備に計器の不具合が見られる。	C

※ 各機器の状況については、別紙2 機器別管理総括表を参照

(3) 運営上の課題

- ① 受入供給設備と汚泥処理設備は劣化が進んでおり、数年以内に更新する必要があります。
- ② 老朽化した機械が施設の大半を占めていることから、今後も安定稼働させるため、老朽化した設備の更新により延命化を行う必要があります。
- ③ 米子市下水道施設との統合時期を見据え、米子市下水道部との連携を密にとり継続的に協議を行いながら、必要性を見極めた上で設備補修を実施する必要があります。

6 維持管理・更新等に係る対策内容及び概算費用

年度	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
対策内容	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・脱水機 ・前処理設備 ・水質計器他	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・トラックスケール ・脱水機 ・水質計器他	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・受変電設備 ・インバータ ・ケーシングター ・水質計器他 建築設備改修 ・処理棟屋上防水 ・処理棟外壁等改修	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・定量ポンプ ・渦巻ポンプ ・水槽防食 ・汚泥掻寄機 ・水質計器他 建築設備改修 ・管理棟屋上防水 ・管理棟外壁等改修	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・脱水機 ・除さスクリーン ・ブロー設備 ・定量ポンプ ・曝気ブロー ・空調設備他
概算費用 (千円)	34,000	41,000	331,000	284,000	302,000
年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	合計 (R2~R10)
対策内容	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・水槽防食 ・動力制御盤 ・コンベヤ設備 ・水質計器他	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・脱臭設備 ・水槽防食 ・中央監視盤 ・水質計器 ・空調設備他	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・脱水機 ・前処理設備 ・渦巻ポンプ ・水質計器 ・空調設備他	設備定期補修 ・ロータリアマイザ ・脱臭設備 ・定量ポンプ ・水質計器他	
概算費用 (千円)	140,000	123,000	120,000	47,000	1,422,000

※ 令和2年度、3年度の概算費用は、工事請負費の当初予算額。

※ 令和4年度以降の概算費用は、別紙2 機器別管理総括表を基に本組合にて積算した金額。

【参考】

● 計画期間終了以降の対策内容及び概算費用

年度	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	合計 (R11~R14)
対策内容	設備定期補修 ・ロータリマイザ ・脱水機 ・ブロー設備 ・前処理設備 ・水質計器他	設備定期補修 ・ロータリマイザ ・定量ポンプ ・コンベヤ設備 ・水質計器他	設備定期補修 ・ロータリマイザ ・脱水機 ・前処理設備 ・渦巻ポンプ ・水質計器他	設備定期補修 ・ロータリマイザ ・定量ポンプ ・水質計器他	
概算費用 (千円)	27,000	26,000	33,000	10,000	96,000

※ 下水道施設との統合時期の目途を令和15年度としているため、令和14年度までとした。

※ 概算費用は、別紙2 機器別管理総括表を基に本組合にて積算した金額。

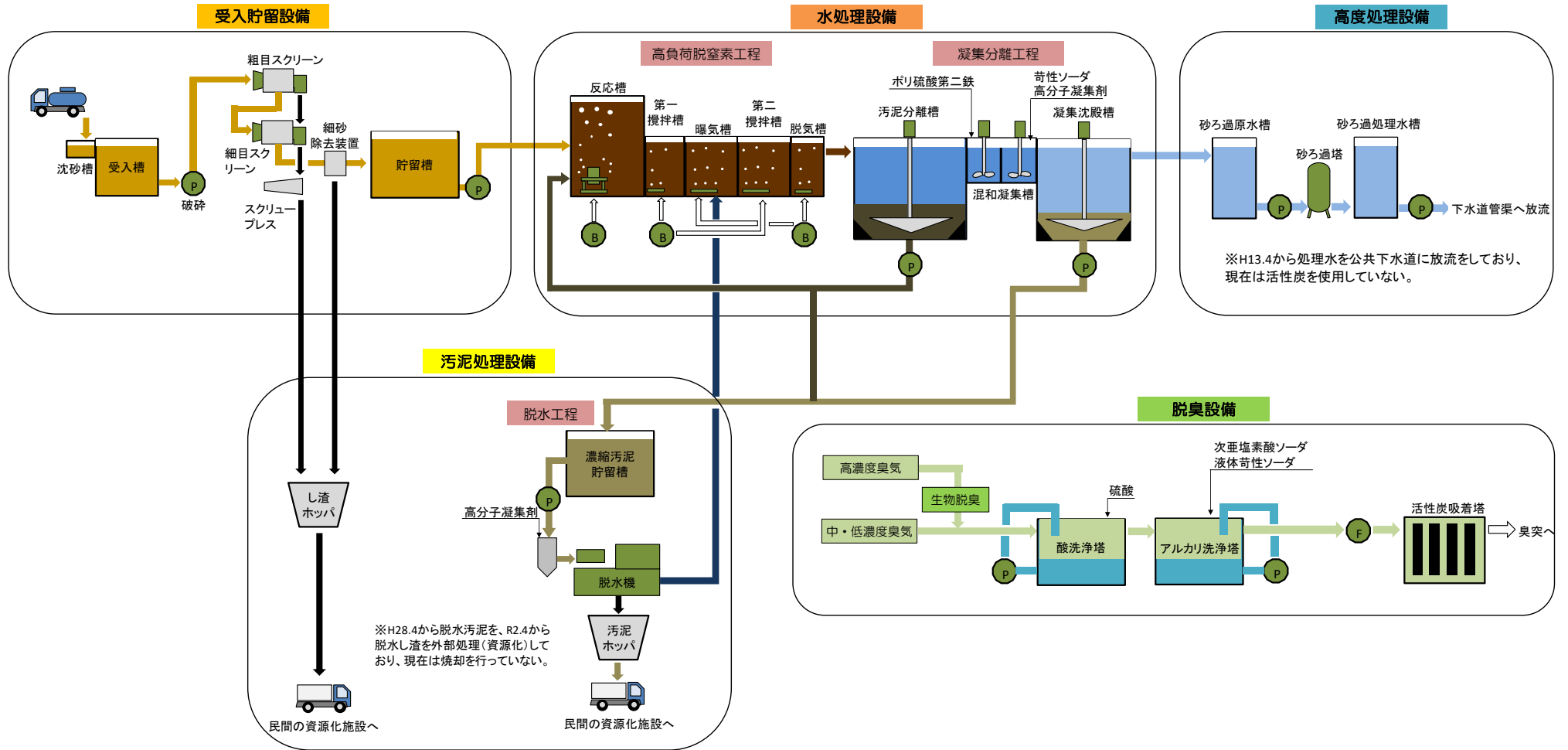
● 近年（過去5年）における補修履歴

年度	補修履歴	費用 (千円)	年度	補修履歴	費用 (千円)
H27	設備補修工事	36,985	H30	処理棟空調設備改修工事	3,507
H28	管理棟空調設備改修工事	1,231	H30	設備補修工事	32,956
H28	設備補修工事	31,980	R1	渡り廊下外壁改修工事	1,901
H29	設備補修工事	32,460	R1	設備補修工事	59,101
合 計					200,121

7 進捗管理

本計画は、現時点においての計画であり、本組合公共施設等総合管理計画の見直し時期に合わせ、見直しを図るものとします。なお、本組合を取り巻く社会経済情勢の変化などにより、計画の見直しが必要な場合は、構成市町村と情報共有を図りながら、必要に応じて適時見直すものとします。

別紙1 米子浄化場処理フロー



別紙2 機器別管理総括表（受入貯留設備1/2）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール														
							計画期間										統合までの期間				
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
計量機	機器更新		未更新	2	主要部分に著しい摩耗・腐食が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	予防保全		○													
	ロードセル更新	1回/6年	H19			予防保全		(○)							○						
	分解整備		H26			予防保全															
	塗装	1回/3年	H27			事後保全		(○)					○			○				○	
	処理装置更新		H26			予防保全		(○)													
	UPS更新	1回/10年	H26			予防保全		(○)													○
投入扉	扉交換		未実施	2	数個所に損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全															
	駆動部更新		未実施			予防保全															
車路管制装置	装置更新	1回/15年	H18	2	交換実績より、劣化が予想される。	予防保全															
No.1し尿破碎ポンプ	機器更新	1回/10年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全													○		
	内部部品交換	1回/3年	H20			予防保全				○										(○)	
No.2し尿破碎ポンプ	機器更新	1回/10年	H25	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的には問題はない。	事後保全													○		
	内部部品交換	1回/3年	未実施			予防保全					○									(○)	
No.3し尿破碎ポンプ	機器更新	1回/10年	R1	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全															
浄化槽汚泥破碎ポンプ	内部部品交換		未実施	1	主要部分に著しい摩耗・腐食が確認され、機能上の劣化がみられる。	事後保全															
No.1粗目スクリーン（し尿用）	内部部品交換	1回/2年	H29	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	予防保全	○														
No.2粗目スクリーン（浄化槽汚泥用）	内部部品交換	1回/2年	H18	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	予防保全				○											
No.1細目スクリーン（し尿用）	機器更新	1回/15年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全					○										
	内部部品交換	1回/2年	H29			予防保全	○					(○)		○		○		○		○	
No.2細目スクリーン（浄化槽汚泥用）	内部部品交換	1回/2年	H18	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○											
No.1スクリュープレス（し尿用）	機器更新	1回/15年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全					○										
	内部部品交換	1回/2年	H29			予防保全	○					(○)		○		○		○		○	
No.2スクリュープレス（浄化槽汚泥用）	内部部品交換	1回/2年	H18	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○											

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している
 ※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（受入貯留設備2/2）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール														
							計画期間										統合までの期間				
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
細砂除去装置	機器更新	1回/10年	未実施	3	交換実績より、劣化が予想される。	予防保全					○										
	内部部品交換	1回/1年	H30			予防保全	○		○	○	(○)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ロータリバルブ更新	1回/2年	H29			予防保全	○			○	(○)	○		○		○		○		○	
	真空ブロワ更新	1回/2年	H29			予防保全	○			○	(○)	○		○		○		○		○	
	水中ポンプ更新	1回/2年	H29			予防保全	○			○		○		○		○		○		○	
No.1 し渣コンベヤ	機器更新	1回/15年	H27	3	数個所に損傷が確認されるも、今のところ機能的には問題はない。	事後保全															
	内部部品交換	1回/5年	H26			予防保全			○					○				○			
No.2 し渣コンベヤ	機器更新	1回/15年	未実施	2	主要部分に損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全															
	内部部品交換	1回/5年	H26			予防保全							○							○	
No.3 し渣コンベヤ	機器更新	1回/15年	未実施	2	主要部分に損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全															
	内部部品交換	1回/5年	H26			予防保全															
No.4 し渣コンベヤ	機器更新	1回/15年	未実施	2	主要部分に損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全															
	内部部品交換	1回/5年	H26			予防保全															
No.5 し渣コンベヤ	機器更新	1回/15年	H19	2	数個所に損傷が確認されるも、今のところ機能的には問題はない。	事後保全				○											
	内部部品交換	1回/5年	H26			予防保全					(○)				○						
No.6 し渣コンベヤ	機器更新	1回/15年	H26	3	数個所に損傷が確認されるも、今のところ機能的には問題はない。	事後保全															
	内部部品交換	1回/5年	H20			予防保全					○				○						
No.7 し渣コンベヤ	機器更新	1回/15年	未実施	2	主要部分に損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全					○										
	内部部品交換	1回/5年	未実施			予防保全					(○)					○					
し渣ホッパー (本体+切出しコンベヤ)	基幹部品更新	1回/15年	未実施	1	主要部分に著しい損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全					○										
	軸受交換	1回/5年	未実施			予防保全					(○)					○					
	駆動部品交換	1回/5年	未実施			予防保全							(○)								

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している
 ※ 整備スケジュールの (○) は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（水処理設備1/4）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール															
							計画期間										統合までの期間					
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
No.1し尿投入ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全			○											○		
	内部部品交換	1回/3年	未実施			予防保全			(○)				○				○				(○)	
No.2し尿投入ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	3	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○												
	内部部品交換	1回/3年	H20			予防保全				(○)				○				○				
No.1浄化槽汚泥投入ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全																
No.2浄化槽汚泥投入ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全																
No.1ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H28	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○	○						○				○				
No.2ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H29	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○		○					○					○			
No.3ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○			○					○				○			
No.4ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H28	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○	○					○					○				
No.5ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H29	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○			○						○				○		
No.6ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○				○					○						
No.7ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H28	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○		○						○					○		
No.8ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H27	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○				○					○						
No.9ロータリアトマイザ	内部部品交換	1回/5年	H27	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	予防保全	○					○					○					
No.1第1曝気ブロウ（反応槽）	機器更新	1回/10年	R1	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全												○				
	内部部品交換	1回/3年	H23			予防保全				○				○				(○)				
No.2第1曝気ブロウ（反応槽）	機器更新	1回/10年	H25	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全					○											
	内部部品交換	1回/3年	H21			予防保全					(○)				○				○			
No.1第2曝気ブロウ（曝気槽・脱気槽）	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全			○													
	内部部品交換	1回/3年	H14			予防保全			(○)					○				○			○	

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（水処理設備2/4）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間										統合までの期間			
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
No.2第2曝気ブロウ （曝気槽・脱気槽）	機器更新	1回/10年	H23	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/3年	H18			予防保全				(○)				○					○	
No.1攪拌ブロウ	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全					○								○	
No.2攪拌ブロウ	機器更新	1回/10年	H24	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全					○									
No.1熱交換器 （反応槽冷却用）	機器更新	1回/15年	H16	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全														
No.2熱交換器 （反応槽冷却用）	機器更新	1回/15年	H17	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全														
クーリングタワー	機器更新	1回/15年	未実施	2	主要部分に著しい損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が見られる。	事後保全			○											
No.1冷却水循環ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	3	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/3年	H22			予防保全				(○)				○						○
No.2冷却水循環ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	3	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/3年	H15			予防保全				(○)				○						○
No.1反応槽循環ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	3	数個所に発錆が確認される、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/3年	R1			予防保全				(○)				○						○
No.2反応槽循環ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	3	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/3年	H22			予防保全				(○)				○						○
No.1ガス攪拌ブロウ	機器更新	1回/10年	H24	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/3年	H18			予防保全				(○)				○						○
No.2ガス攪拌ブロウ	機器更新	1回/10年	H29	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全								○						
	内部部品交換	1回/3年	H21			予防保全						○			(○)					○
汚泥分離槽汚泥掻寄機	機器更新	1回/15年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○										
	電動機分解整備	1回/8年	H19			予防保全				(○)										○
凝集沈殿槽汚泥掻寄機	機器更新	1回/15年	未実施	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○										
	電動機分解整備	1回/8年	H19			予防保全				(○)										

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（水処理設備3/4）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間								統合までの期間					
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
No.1余剰汚泥引抜ポンプ	機器更新	1回/10年	H24	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/3年	H19			予防保全				(○)				○				○		
No.2余剰汚泥引抜ポンプ	機器更新	1回/10年	H27	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全						○								
	内部部品交換	1回/3年	H21			予防保全						(○)						○		
No.1汚泥返送ポンプ	機器更新	1回/10年	H25	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/3年	H19			予防保全					(○)			○					○	
No.2汚泥返送ポンプ	機器更新	1回/10年	H29	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全								○						
	内部部品交換	1回/3年	H21			予防保全				○			○		(○)					○
No.1苛性ソーダポンプ (凝集槽用)	機器更新	1回/10年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全						○								
No.2苛性ソーダポンプ (凝集槽用)	機器更新	1回/10年	未実施	1	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○					○			○		
苛性ソーダポンプ (凝沈出口)	機器更新	1回/10年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全				○						○				
No.1スカムポンプ	機器更新	1回/10年	H14	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/10年	H14			予防保全					(○)			○				○		○
No.2スカムポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	1	耐用年数を大きく超過しており、早期の交換が必要である。	事後保全				○										
	内部部品交換	1回/10年	未実施			予防保全					(○)			○						○
混和槽攪拌機	機器更新	1回/15年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全										○				
	電動機更新	1回/5年	H28			予防保全						○					(○)			
凝集槽攪拌機	機器更新	1回/15年	H22	2	数個所に発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○									○	
	減速機分解整備	1回/5年	H18			予防保全					(○)			○						(○)
No.1凝沈汚泥引抜ポンプ	機器更新	1回/10年	H29	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全								○						
	内部部品交換	1回/5年	H20			予防保全					○				(○)					
No.2凝沈汚泥引抜ポンプ	機器更新	1回/10年	H29	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全								○						
	内部部品交換	1回/5年	H21			予防保全					○				(○)					
No.1塩化第二鉄ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	1	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全				○						○				

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（水処理設備4/4）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間										統合までの期間			
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
No.2塩化第二鉄ポンプ	機器更新	1回/10年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全									○					
高分子凝集剤自動溶解槽（凝沈用）	機器更新	1回/15年	H26	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全											○			
	内部部品交換	1回/5年	H20			予防保全			○				○						(○)	
高分子凝集剤溶解槽攪拌機（凝沈用）	機器更新	1回/15年	H26	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全												○		
	内部部品交換	1回/5年	H26			予防保全			○										(○)	
No.1高分子凝集剤ポンプ（凝沈用）	機器更新	1回/10年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全									○					
No.2高分子凝集剤ポンプ（凝沈用）	機器更新	1回/10年	未実施	2	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全						○							○	
苛性ソーダタンク	タンク更新	1回/15年	H19	3	経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全									○					
塩化第二鉄タンク	タンク更新	1回/15年	未実施	2	経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全									○					
ポリ硫酸鉄タンク	タンク更新	1回/15年	未実施	2	経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全									○					

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（高度処理設備1/1）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール																	
							計画期間								統合までの期間									
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14					
砂ろ過塔	充填物補充	1回/5年	H24	2	数個所に発錆が確認され、長期稼働による劣化が発生している。	事後保全			○					○										
No.1ろ過塔ポンプ	機器更新	1回/10年	H23	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全			○														○	
	内部部品交換	1回/3年	H28			予防保全			(○)							○								
No.2ろ過塔ポンプ	機器更新	1回/10年	H23	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全			○															○
	内部部品交換	1回/3年	H29			予防保全			(○)							○								
No.3ろ過塔ポンプ	機器更新	1回/10年	H23	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全			○															○
	内部部品交換	1回/3年	H19			予防保全			(○)							○								
No.1ろ過塔逆洗ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全				○														
	内部部品交換	1回/5年	H17			予防保全				(○)														○
No.2ろ過塔逆洗ポンプ	機器更新	1回/10年	H15	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全				○														
	内部部品交換	1回/5年	未実施			予防保全				(○)														○
No.1放流ポンプ	機器更新	1回/10年	H24	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全				○														
	内部部品交換	1回/3年	H20			予防保全				(○)						○								○
No.2放流ポンプ	機器更新	1回/10年	H24	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全				○														
	内部部品交換	1回/3年	H20			予防保全				(○)						○								○

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表 (汚泥処理設備1/3)

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール															
							計画期間								統合までの期間							
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
No.1汚泥供給ポンプ	機器更新	1回/10年	H25	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全																
	内部部品交換	1回/3年	H20			予防保全					○									○		
No.2汚泥供給ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	主要部分に著しい損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全																
	内部部品交換	1回/3年	H20			予防保全					○									○		
No.3汚泥供給ポンプ	機器更新	1回/10年	H25	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全																
	内部部品交換	1回/3年	H18			予防保全					○									○		
No.1汚泥脱水機	機器更新	1回/15年	未実施	1	主要部分に著しい摩耗・腐食が確認され、機能上の劣化が見られる。	事後保全																
	内部部品交換	1回/2年	未実施			予防保全	/	/	/	/	(○)									○		○
	内部部品肉盛	1回/4年	未実施			予防保全	/	/	/	/											○	
	ろ布交換	1回/4年	H30			予防保全	○				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	軸受交換	1回/4年	H28			予防保全	○															
	駆動電動機更新		R1			予防保全					/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	内部部品交換	1回/2年	H30			予防保全	○			○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	塗装	1回/4年	H30			予防保全				○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
No.2汚泥脱水機	機器更新	1回/15年	未実施	1	主要部分に著しい摩耗・腐食が確認され、機能上の劣化が見られる。	事後保全																
	内部部品交換	1回/2年	未実施			予防保全	/	/	/	/	(○)										○	
	内部部品肉盛	1回/4年	未実施			予防保全	/	/	/	/											○	
	ろ布交換	1回/4年	R1			予防保全					/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	軸受交換	1回/4年	H27			予防保全																
	駆動電動機更新		H24			予防保全					/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	内部部品交換	1回/2年	R1			予防保全				○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	ケース補修、塗装	1回/4年	H29			予防保全				○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
高分子凝集剤自動溶解装置 (脱水用)	機器更新	1回/15年	H24	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全														○		
	内部部品交換	1回/5年	H23			予防保全					○										(○)	
高分子凝集剤溶解槽攪拌機 (脱水用)	機器更新	1回/15年	H24	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全														○		
No.1高分子凝集剤ポンプ (脱水用)	機器更新	1回/10年	未実施	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全														○		
	内部部品交換	1回/3年	H18			予防保全				(○)				○							(○)	
No.2高分子凝集剤ポンプ (脱水用)	機器更新	1回/10年	未実施	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全														○		
	内部部品交換	1回/3年	H18			予防保全				(○)				○							(○)	

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの (○) は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（汚泥処理設備3/3）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール												
							計画期間								統合までの期間				
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
乾燥汚泥ホッパ （本体+切出しコンベヤ）	基幹部品更新	1回/15年	未実施	2	主要部分に著しい損傷が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全					○								
	軸受交換	1回/5年	未実施			予防保全						(○)					○		
	駆動部品交換	1回/5年	未実施			予防保全						(○)							
No.1 操作用コンプレッサ	機器更新	1回/10年	H26	3	経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全						○							
No.2 操作用コンプレッサ	機器更新	1回/10年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全						○							

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（脱臭設備1/1）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間										統合までの期間			
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
酸・アルカリ洗浄塔	ライニング補修	1回/15年	未実施	2	主要部分に著しい発錆が確認され、長期使用による劣化が考えられる。	予防保全			○											
	充填剤交換	1回/7年	未実施			予防保全			○					○						
No.1酸循環ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	3	主要部分に著しい発錆が確認されるが、今のところ機能的に問題はない。	事後保全			○											
	内部部品交換	1回/3年	R1			予防保全			(○)				○							(○)
No.2酸循環ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	1	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の低下が見られる。	事後保全			○											
	内部部品交換	1回/3年	未実施			予防保全			(○)				○					○		
No.1アルカリ循環ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	3	主要部分に著しい発錆が確認されるが、今のところ機能的に問題はない。	事後保全			○										○	
	内部部品交換	1回/3年	H29			予防保全			(○)				○							(○)
No.2アルカリ循環ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全			○											
	内部部品交換	1回/3年	H23			予防保全			(○)				○					○		
No.1酸ポンプ（脱臭用）	機器更新	1回/6年	未実施	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全			○									○		
No.2酸ポンプ（脱臭用）	機器更新	1回/6年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全					○							○		
No.1苛性ソーダポンプ（脱臭用）	機器更新	1回/6年	未実施	2	耐用年数を大きく超過しており、長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全			○									○		
No.2苛性ソーダポンプ（脱臭用）	機器更新	1回/6年	未実施	2	耐用年数を大きく超過しており、長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全						○						○		
No.1次亜塩素酸ソーダポンプ（脱臭用）	機器更新	1回/6年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全					○							○		
No.2次亜塩素酸ソーダポンプ（脱臭用）	機器更新	1回/6年	H30	3	目立った錆・損傷もなく、健全な状態であった。	事後保全												○		
No.1脱臭ファン	機器更新	1回/10年	H25	3	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全							○							
	内部部品交換	1回/3年	H22			予防保全							(○)			○				○
No.2脱臭ファン	機器更新	1回/10年	未実施	2	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全					○									
	内部部品交換	1回/3年	H22			予防保全						(○)			○				○	
活性炭吸着塔	タンク更新	1回/15年	未実施	2	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全														
次亜塩素酸ソーダタンク	タンク更新	1回/15年	H27	1	主要部分に著しい損傷が確認され、機能上の劣化が見られる。	事後保全		○												
酸タンク	タンク更新	1回/15年	未実施	2	主要部分に著しい発錆が確認され、経過年数より機能上の劣化が懸念される。	事後保全												○		

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（電気設備・データログ装置・計装制御設備・水分析計1/5）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間										統合までの期間			
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
受変電設備	機器更新 （変圧器容量変更）	1回/15年	H22	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
No.1 動力制御盤	漏電ルレ、SC、ACL、DCL更新	1回/15年	H25	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○										
No.2 動力制御盤	漏電ルレ、SC、ACL、DCL更新	1回/15年	H25	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全					○									
No.3 動力制御盤	漏電ルレ、SC、ACL、DCL更新	1回/15年	H25	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全						○								
乾燥焼却設備制御盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全														
ポンプ室操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
ブロワ室操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
前処理設備操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
脱水機操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
薬注設備操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
脱臭設備操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
高度処理設備操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
反応槽上部室操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
真空ポンプ操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
中央監視操作盤	盤内部品交換	1回/15年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全						○								
データログ装置	装置更新	1回/10年	R1	3	目立った損傷もなく健全な状態であった。	予防保全													○	
	PC更新	1回/10年	R1			予防保全														(○)
	HDD更新	1回/4年	H29			予防保全			○		○		○		○					(○)
	UPS更新	1回/4年	H29			予防保全					○				○					(○)

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（電気設備・データログ装置・計装制御設備・水分析計2/5）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール																	
							計画期間										統合までの期間							
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14					
し尿スクリーン流入量計	機器更新	1回/10年	H20	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
浄化槽汚泥スクリーン流入量	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
し尿投入量計	機器更新	1回/10年	H28	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
浄化槽汚泥投入量計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
返送汚泥量計	機器更新	1回/10年	H16	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
雑排水移送量計	機器更新	1回/10年	H17	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
脱水分離液槽移送量計	機器更新	1回/10年	H18	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
凝集沈殿槽引抜量計	機器更新	1回/10年	H20	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
余剰汚泥引抜量計	機器更新	1回/10年	H20	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
脱水機流入量計	機器更新	1回/10年	H18	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
工水給水量計	機器更新	1回/10年	H18	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
上水給水量計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
放流量計	機器更新	1回/10年	R1	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
砂ろ過流入量計	機器更新	1回/10年	未実施	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
し尿受入槽液位計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
浄化槽汚泥受入槽液位計	機器更新	1回/10年	H19	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														
し尿貯留槽液位計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○														

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（電気設備・データログ装置・計装制御設備・水分析計3/5）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間										統合までの期間			
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
浄化槽汚泥貯留槽液位計	機器更新	1回/10年	H19	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
苛性ソーダタンク液位計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全			○											
塩化第二鉄タンク液位計	機器更新	1回/10年	H20	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全			○											
次亜塩素酸ソーダタンク液位計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全			○											
濃縮汚泥貯槽液位計	機器更新	1回/10年	H14	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
雑排水槽液位計	機器更新	1回/10年	H14	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
ポリ硫酸鉄タンク液位計	機器更新	1回/10年	未実施	2	長期使用により、機能の低下が見られる。	事後保全			○											
脱水分離液槽液位計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
酸タンク液位計	機器更新	1回/10年	未実施	2	長期使用により、機能の低下が見られる。	事後保全			○											
受水槽液位計	機器更新	1回/10年	H15	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
反応槽曝気空気量計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
曝気槽曝気空気量計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
脱臭風量計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全			○											
反応槽液温計	機器更新	1回/10年	未実施	2	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全				○										
反応槽PH計	変換器更新	1回/10年	H17	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全												○		
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反応槽ORP計	変換器更新	1回/10年	H17	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全												○		
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（電気設備・データログ装置・計装制御設備・水分析計4/5）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間								統合までの期間					
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
反応槽MLSS計	機器更新	1回/10年	H25	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全											○			
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第一攪拌槽ORP計	変換器更新	1回/10年	H20	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全	○				○									
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第二攪拌槽ORP計	変換器更新	1回/10年	H20	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全					○									
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
曝気槽ORP計	変換器更新	1回/10年	H23	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全											○			
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
混和槽PH計	変換器更新	1回/10年	H17	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全													○	
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
凝集槽PH計	変換器更新	1回/10年	H20	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全					○									
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
放流水PH計	変換器更新	1回/10年	H22	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全													○	
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
濃縮汚泥貯留槽SS計	機器更新	1回/10年	H30	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全														
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
酸洗浄塔PH計	変換器更新	1回/10年	H21	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全							○							
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アルカリ洗浄塔PH計	変換器更新	1回/10年	H21	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全							○							
	内部部品交換	1回/1年	R1			予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アルカリ洗浄塔残留塩素濃度計	内部部品交換	1回/1年	R1	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	予防保全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非常用発電機	整備部品交換	1回/5年	R1	2	主要部品は未更新で、長期稼働による劣化が懸念される。	予防保全												○		○
No.1し尿破砕ポンプ用インバータ	インバータ更新	1回/10年	H23	3	長期稼働による劣化が考えられる。	予防保全													○	
No.2し尿破砕ポンプ用インバータ	インバータ更新	1回/10年	H23	3	長期稼働による劣化が考えられる。	予防保全													○	

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（電気設備・データログ装置・計装制御設備・水分析計5/5）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間										統合までの期間			
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
No.3し尿破砕ポンプ用インバータ	インバータ更新	1回/10年	未実施	1	耐用年数を大きく超過して使用しており、早期の交換が必要である。	予防保全			○									○		
し尿投入ポンプ用インバータ	インバータ更新	1回/10年	未実施	1	耐用年数を大きく超過して使用しており、早期の交換が必要である。	予防保全			○									○		
浄化槽汚泥投入ポンプ用インバータ	インバータ更新	1回/10年	未実施	1	耐用年数を大きく超過して使用しており、早期の交換が必要である。	予防保全			○									○		
No.1、No.2汚泥供給ポンプ用インバータ	インバータ更新	1回/10年	H18	2	長期稼働による劣化が考えられる。	予防保全			○									○		
No.3汚泥供給ポンプ用インバータ	インバータ更新	1回/10年	H18	2	長期稼働による劣化が考えられる。	予防保全			○									○		
No.1脱臭ファン用インバータ	インバータ更新	1回/10年	H23	3	長期稼働による劣化が考えられる。	予防保全			○									○		
No.2脱臭ファン用インバータ	インバータ更新	1回/10年	H23	3	長期稼働による劣化が考えられる。	予防保全			○									○		
第一曝気ブロウ用インバータ	インバータ更新	1回/10年	H19	2	長期稼働による劣化が考えられる。	予防保全			○									○		
前処理・脱水用シーケンサ	シーケンサ更新	1回/10年	R1	3	目立った損傷もなく健全な状態であった。	予防保全												○		
データログ装置用シーケンサ	シーケンサ更新	1回/10年	R1	3	目立った損傷もなく健全な状態であった。	予防保全												○		
砂ろ過・活性炭用シーケンサ	シーケンサ更新	1回/10年	R1	3	目立った損傷もなく健全な状態であった。	予防保全												○		

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（土木・建築設備1/2）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間										統合までの期間			
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
No.1加圧ポンプ	機器更新	1回/10年	H26	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全					○									
	内部部品交換		H20			予防保全					(○)				○				○	
No.2加圧ポンプ	機器更新	1回/10年	H26	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全					○									
	内部部品交換		H20			予防保全					(○)				○				○	
No.1床排水ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全					○							○		
No.2床排水ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全					○							○		
No.3床排水ポンプ	機器更新	1回/10年	未実施	2	長期稼働による劣化が考えられる。	事後保全					○							○		
No.1雑排水ポンプ	機器更新	1回/10年	H28	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全												○		
	内部部品交換	1回/3年	H20			予防保全					○				(○)					○
No.2雑排水ポンプ	機器更新	1回/10年	H24	3	数個所に発錆が確認されるも、今のところ機能的に問題はない。	事後保全					○									
	内部部品交換	1回/3年	H18			予防保全					(○)				○				○	
し尿受入槽 (沈砂槽含む)	防食補修	1回/20年	未実施	2	劣化が著しく、機能の低下が見られる。	事後保全												○		
浄化槽汚泥受入槽 (沈砂槽含む)	防食補修	1回/20年	未実施	2	劣化が著しく、機能の低下が見られる。	事後保全					○									
し尿貯留槽	防食補修	1回/20年	H21	2	劣化が著しく、機能の低下が見られる。	事後保全												○		
浄化槽汚泥貯留槽	防食補修	1回/20年	未実施	2	劣化が著しく、機能の低下が見られる。	事後保全					○									
反応槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化の兆候はあるが、機能上問題ない。	事後保全														
第1攪拌槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全					○									
曝気槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全					○									
第2攪拌槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全					○									
脱気槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全					○									

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。

別紙2 機器別管理総括表（土木・建築設備2/2）

設備機器	整備項目	整備周期	前回整備	健全度	劣化状況	保全方式	整備スケジュール													
							計画期間										統合までの期間			
							R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
スカムピット	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全						○								
汚泥分離槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全				○										
混和槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全					○									
凝集槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全					○									
凝集沈殿槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全						○								
ろ過原水槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全							○							
ろ過処理水槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全								○						
吸着処理水槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全									○					
放流ピット	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全										○				
接触槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全											○			
脱水分離液槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しているが、機能は維持されている	事後保全												○		
雑排水槽	防食補修	1回/20年	未実施	1	劣化が進行している。亀裂が見られる。	事後保全					○									
濃縮汚泥貯留槽	防食補修	1回/20年	未実施	3	劣化が進行しており、機能の低下が懸念される。	事後保全												○		

※ 健全度 4：支障なし 3：軽微な劣化があるが、機能に支障なし 2：劣化が進んでおり、放置すると機能低下が発生する 1：劣化が進み、大きな機能低下が発生している

※ 整備スケジュールの（○）は機器更新により同時に更新されることを示す。